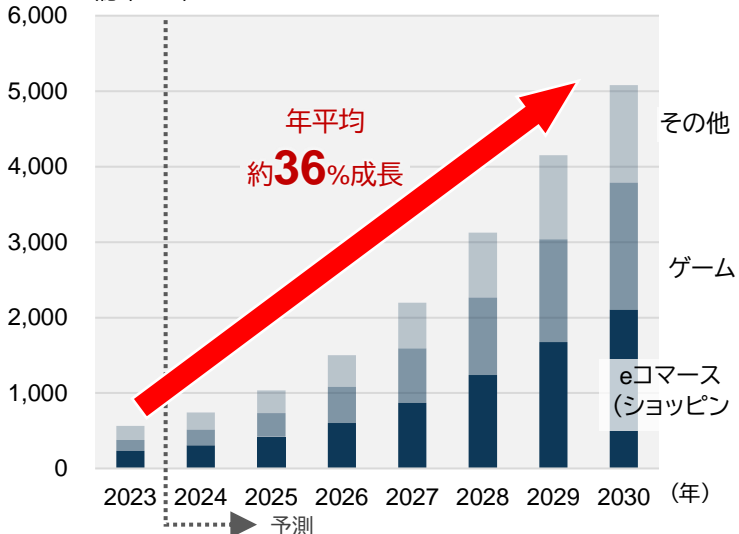


- メタバース(Metaverse)とは、「メタ(meta、超越)」と「ユニバース(universe、宇宙)」を組み合わせた造語で、デジタル上に構築された仮想世界のことです。
- 利用者は、仮想世界に自分の分身であるデジタルキャラクター「アバター」で参加し、空間内を自由に移動したり、誰かと会話をしたりすることができます。
- メタバースでは、アバターの存在によって、文字や言葉に、動作といった非言語情報を付加することで、高い没入感と充実したコミュニケーションを取ることができます。

メタバース市場の推移

- メタバースでは、複合現実(MR)や拡張現実(AR)、仮想現実(VR)などの技術を使い、ショッピング、ゲームやエンターテインメントへの参加、仮想不動産の売買など、現実世界と同様の経済活動が行われています。
- ビジネスの現場では、デジタルツイン(現実世界を仮想世界に再現)やNFT(非代替性トークン)といった技術が併用されていることから、仮想世界特有の価値提供や業務効率化などへの活用が期待されています。

2022年～2030年(2023年以降は予測)
(億米ドル)



出所: Statista Market Insights

※上記は過去のものおよび予測であり、将来を約束するものではありません。

※公開情報など信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成。情報の正確性・完全性について当社が保証するものではありません。

ページ記載の銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、弊社ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、流動性のある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

主要なメタバースプラットフォーム

- 人々が集い、対話型ツールを活用できる社会主導型の環境などが整備されたメタバースプラットフォームの開発に、さまざまな企業が注力しています。
- 2021年に、Meta(旧Facebook)がHorizon Worldsを正式リリースしたことなどから、メタバースプラットフォームが注目されるようになりました。ここでは、注目されている主要プラットフォームを紹介します。

Roblox(米国、Robloxが提供)

- ユーザーが開発者向けポータルでアイテムやゲーム、シナリオなどを作ることができることから、ゲーム版のYoutubeと言われています。デイリーアクティブユーザーは8,530万人(2024年4Q)です。
- NIKEやGUCCIなどのアパレルブランドやストリーミングサービスのSpotifyなどが、マーケティングプラットフォームとして出展しています。2024年5月からは、プラットフォーム上に企業の没入型ビデオ広告を出稿することが可能になりました。

Minecraft(米Microsoftの子会社Mojang Studiosが提供)

- 3Dブロックで構成された仮想空間の中で、砂場で自由に遊ぶ感覚でモノづくりや冒険を楽しむゲームです。月間アクティブユーザーは2億人強(2024年)です。
- プログラミング体験やデジタルものづくりを通じた問題発見・解決を目指すツールとして授業や学習で使われており、毎年大会も開催されています。このほか、バーチャル音楽祭やバーチャル観光としても利用されています。

Fortnite(米国、EpicGamesが提供)

- 2017年にリリースされたバトルロイヤルゲームで、月間アクティブユーザーは1億人を超えています(2023年)。ゲームエンジンは、EpicGamesが開発したUnreal Engineを利用しています。
- プラットフォーム内では、ユーザー同士のコミュニケーションが行われているほか、バーチャルファッションアイテムの販売やアーティストのバーチャルライブなど、ゲーム以外にも利用されています。

Decentraland(米国、非営利団体Decentralandが提供)

- イーサリアムのブロックチェーン技術をベースとしたDAO(分散型自立組織)で運営され、ユーザーは独自トークンを使って、土地やアート作品、ファッションアイテムなどを売買することができます。
- 企業やユーザーが主催するコンサートやアート展示、ゲームコンテストなど、各種イベントが開催され、ユーザー同士のコミュニケーションが行なわれています。また、イベントによっては、NFT(非代替性トークン)や独自トークンが提供されることもあります。

※報道などを基に作成したものであり、すべてではありません。また、将来変更される場合があります。